





婦人見學團の訪ふ處 水原(上野公園内)



# 水原へ

婦人見學團出發

午前七時迄に集合す 停車場に御集合下さい

水原へは、電車で行く。水原駅は、上野公園の南側にあり、水原公園の入り口である。水原公園は、水原の中心地であり、水原の歴史をしのぶことができる。水原公園には、水原の歴史をしのぶことができる。水原公園には、水原の歴史をしのぶことができる。

## 健康驚

入塾中の學生

健康に驚かされた。入塾中の學生は、健康に驚かされた。入塾中の學生は、健康に驚かされた。

## 第二回婦人見學團

主催 京城日報社

明日午前七時迄に南大門前本社各旗のある處に御集り

達の遅れた御方は前記時刻迄に停車場に御出下さい

主 催 京 城 日 報 社

交換手 面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

面喰はせた

初立の日

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

人の力

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

女の軍事功勞者

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

演藝案内

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

月経

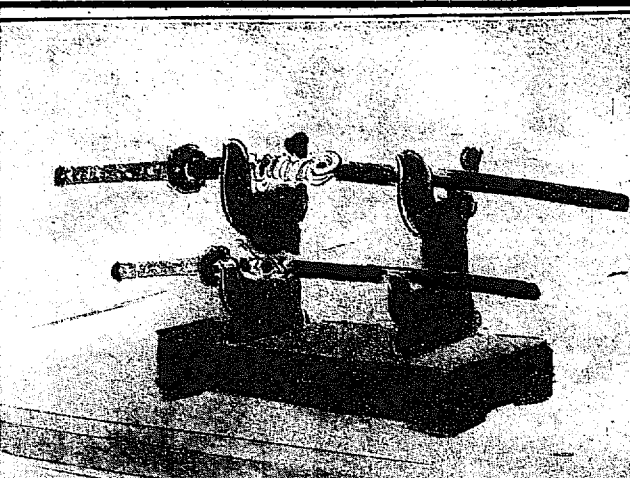






東京 田邊南龍 講演

院主 佐々木杏造  
 入院 陽病院  
 院主 佐々木杏造  
 六月五日  
 一白 念が化過る 不如する  
 二黒 腹腹に刺さる 如く  
 三碧 夢み事の達する 如く  
 四緑 外部から助け得る 如く  
 五黄 思ふが如く 如く  
 六白 思ふが如く 如く  
 七赤 思ふが如く 如く  
 八白 思ふが如く 如く  
 九赤 思ふが如く 如く  
 十白 思ふが如く 如く

[illegible]

**食卵**  
**種卵**  
**離讓分**

[illegible]

ては最新  
中のもの  
い其三は  
安全であ  
一箇月も  
せしむる

[illegible][illegible]

朋  
虞

[illegible]

に秘鑑に  
こ夫が全  
妻が治つ  
時まで經

[illegible]

幸<sup>さいはひ</sup>こ<sup>こ</sup>其<sup>その</sup>

ちびれ毛

ドンナ顔はなで、タシカに直り増  
 毛は、さうで出せる  
 皮膚で吸の出来る  
 毛は、毛に毛を  
 チヂメ毛を毛を  
 毛の毛に毛を  
 毛の毛に毛を



下さい、髪をなで、毛を  
 東京浅草山の宿五十一丁己  
 開張東洋第一の本板本業生は直

ては最新  
中のもの  
い其三は  
安全であ  
一箇月も  
せしむる

**中風病**

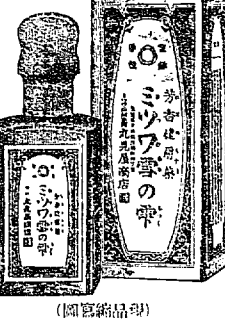
余が家は祖父及び父も同病にて罹死したる者三人

記入照會の方に詳報  
 氏名 瀧野 方子 年 齢 70  
 住居 東京市市島町  
 職業 無  
 病状 左半身不遂、言語障害、意識不明、脈弱、呼吸困難、嘔吐、下痢、尿失禁、多汗、四肢厥冷、瞳孔散大、角膜反射消失、呼吸停止、心臓停止、死亡。

定内

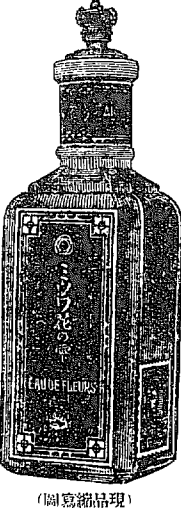
皮膚を強固清潔ならしめ、皮膚を乾燥、  
皮膚の腫脹、皮膚の癢、皮膚の癢、皮膚の癢、  
火傷、乳癌の小瘡、擦傷、傷、皮膚の癢、  
疥癬、瘡毒、毛疔、濕疹、腳氣後、  
瘡毒、瘡毒、白濁に奏効す。

は方香腹師たる健胃藥で、日常に用ふれば、  
に胃の機能を殺し其發育を抑へ、喉で腹收  
し其氣を消し皮膚の硬くなつたのを溶かし  
皮膚を柔軟に滑らかにし、肌から出る汗を除去して清潔にし、  
肌理を細かにし、肌を血を良くし其色澤を麗くし、皮膚  
を包み固めて外から来る刺激を殺け、強い乾燥を治し、愈々  
滑肌の發育を旺盛にす、  
皮膚病に良く効す。肌を強く滑らかにするのであります。  
洗つてから之を塗らばやうに塗り、擦り経てから湯水で  
拭き取す。それから白粉を塗るこのりものびもよく仕へる。



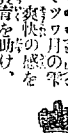
窮

の家庭用香水には徒  
 然に香を放ち、  
 強迫する衛を置く  
 衣服等に振掛くれば  
 を免すもの多きに反  
 ミツ花の半ばは人を  
 が如き成しきき難  
 香を有し、幸も手  
 十握なく則ち、手巾  
 の散布等に振掛け、  
 家随用香水なる。

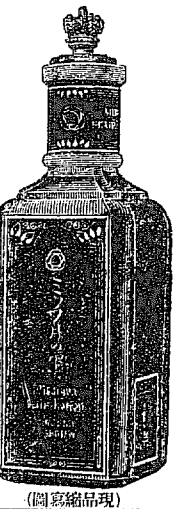


定  
内

なる品を具備し、  
の衛生に適合する  
の爲めに毛髪を洗  
濯此のミツワ月の  
なれば、爽快の感  
毛髪を養育を助け  
之を能く保つこ  
追潤を施さならしめ  
及皮膚の過度を防ぎ  
の二は、其  
容を長するに特別  
するに特別ある美  
容品なり

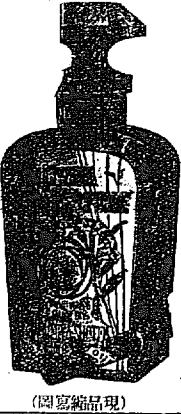
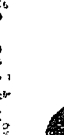


ミツワキ



價 每  
一均種

ヴァキオレツト (うめじ)  
 ムロリ (ゆり)  
 リー (はら)  
 ミゲツ (花の名)  
 ムモ (花の名)  
 ブーケ (花束)  
 サト (花の名)



## 油ドロップス

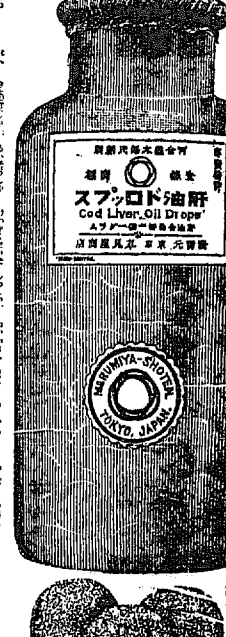
食糧一顧一瓦にして夢を斷及可容  
 食糧一顧一瓦にして夢を斷及可容  
 食糧一顧一瓦にして夢を斷及可容

肝油ドロップス  
 肝油ドロップス  
 肝油ドロップス

肝油ドロップス  
 肝油ドロップス  
 肝油ドロップス

肝油ドロップス  
 肝油ドロップス  
 肝油ドロップス

肝油ドロップス  
 肝油ドロップス  
 肝油ドロップス



の色が蒼白く、醜無き人  
 唐の諺が惡性の人  
 此の語を謂ふは性の人  
 此語一般に實血してゐる人  
 一、此病はなほ人  
 強く感付に難し易人  
 此の目に瘰癧する人  
 足が冷てなれぬ人  
 人  
 瘰癧前後、病後の滋養を計り  
 活潑なる所謂瘰癧の小水  
 瘰癧が細く、瘰癧が少  
 瘰癧や瘰癧の人並より多く出る所  
 謂瘰癧素質のある人  
 瘰癧肉を食らて、無瘰癧性  
 元氣より活動せる人  
 瘰癧一瘰癧に瘰癧が少人  
 顔や手先を赤くした人  
 人  
 瘰癧に罹れる人  
 瘰癧の病に罹つ  
 人の瘰癧物として理  
 食物である。

理想の良

石鹼  
家庭藥  
葡萄酒  
葡萄油  
鐵葡萄  
國化粧  
品

發賣元

○

登錄  
商標

丸見屋商

東京市日本橋區桶町四丁  
發賣鐵製品石鹼香粧品小間物  
電話電掛時三〇四八八 四四九四  
地電略號〇五七 振替店金倉庫東京七



戦線に立たしめ得たるの例  
にも南北戦争あり、後には

東京 神田 有朋堂  
電話 神田 二六四二

販賣店大募集

電話長九〇二  
振替京城五七

商國士











森島  
田山  
碧  
久波  
畫作

**牛乳**

院附乳牛  
カネホ乳牛

**御用**

**岡野牧場**

電話 一六四九番


「お、山田君が山中國のお嬢様だね」  
と云つて行つた。

老練の御吉は様子を見下へ待  
たして居た。牛乳ばかり先の植木屋  
へ入つて行つた。

「さういふか」  
次郎市の人々が植木屋へ入つてか  
ら約二、三カ所づつ、四十前後の  
小浜や路が寄つて來て、其處に佇ん  
で居る様子に馴した。

**日報柳壇**  
 花遊  
 ◎社  
 秀逸  
 保が三寸下る赤い紙、雄々たる首くへりに、茶色に、下へて行く。作者は、五か所、書き下し、「赤い紐の五が有て付着、常に有意の物なり、生て微細、光し、女の體格、これ人な、鑑かと、思ひまじ、お前の心、かしめることだらう、確かに、此れも、恥ぢんぞと云ふといふこと、強々たる女良ら、ために、其角する三寸、それも無理では

来るのを願ふる  
 操子は、神樂坂の  
 方へ羽を配つて庭  
 番に就いた。  
 「向島に居らつし  
 やるんださうで  
 す」  
 老人は操子と同  
 じやうに暗黒左右  
 に羽を配つた。  
 「向島ですつて」  
 操子は市川から  
 引上げた母が姿  
 隠して居さうな  
 處だと思つた。  
 「さうで御座いま  
 す、以前にお出ス  
 をして頂りました  
 春花は、厄介にな  
 つて居らつしや  
 らうて」  
 春花は云ふ程  
 木村は、母の初江  
 が母に居た分  
 出入をして居た植  
 木屋であるから、  
 操子は益々其の言  
 葉を信じてしまつ  
 た。



91

[illegible]

透なの。  
「三關神社の前から坂を降ります」  
「直で御座います」  
兄弟供に來てやうな態度で語り  
乍ら歩いて居た主従は、何時の間  
にやら九段坂願なる靖國神社の脇  
を歩い居る。  
「夫れだけ判なば私一人で行くか  
らお前は御座る處までお呉れ」  
「然しお嬢様も一人下大坂まで御  
座います」  
「次郎吉老人は心配さうに訊して  
操子の手廻り細心の注意を拂つた  
「ホ、い、大坂まで、九段下か  
ら自動車で行くもの」  
「自動車で」  
何故か夫れを聽いた次郎吉は些  
か大きな聲を出した。操子が自動  
車で行く云ふは、次郎吉老人は  
「お心配をなさいますな、私  
お嬢様や若様のお身の上がお  
母でございますからモウお願  
ひな決心をして居るのです  
「まあそんな決心をして居る  
操子は年老し此の次郎吉が  
を出る氣で自分を管母の背へ  
と呉れる厚意を知つた。思は  
ずの涙を流すのであつた  
「お嬢様、次郎吉は斯んな威  
な爺ですが、昔々申し上れば  
斯の家に産れた者でございま  
假令此の後に野倒れ死をする  
なごさでありまして申し上  
てお嬢様や若様をお護り申し  
貴女としては定めし御親爺で  
が御親様か御叔からお嬢様に  
まで無事で居つしやれば、後  
でござりまする」

日暮時分、黒曜石  
 否かにかくに押のみよきて生くる身も  
 何故にかくに悲しむか、那智乃美夢  
 舟並びぬみちをさへ我心欲す  
 幼らと違へる手の日たと三枝葉  
 草吹くやうなけり  
 萩がたのながまきりておのづから  
 の廻るかにふみのひ  
 越えて藤はよそ草の若にさまり  
 てふなり、心は近か  
 今宵は心ゆくほのかなる苔の林の  
 の香に我れども  
 出陣候はのくに匂ひこれこの夜心  
 のしづかなるなり  
 今はいまうちに寝ればぞと木影に  
 とれば濡しかけり  
 秋村  
 見る人もなく散るらん山かけの暮  
 行亦についでい  
 落着いた風よくより里過との山の  
 けは寒の風  
 けは寒の風よくより里過との山の  
 なむじくの暮なくして世を終はる我  
 の心程かな  
 初めに此をわけて我心書木陰臨

ぬき汚を襟の表晴の婚結や合見に  
粉白一カ一木

白さが  
ちが  
異ふ！  
博士學者に推薦さ  
れた日本一の白粉  
新発見白粉！

血の道  
こしけ  
子宮病

▲子宮病	▲血がはり	▲下血	▲痛經	▲月經不調	▲内傷	▲夜眠
▲血の通り	▲産後血	▲婦人經痛	▲經閉	▲氣血不和	▲腰膝冷	▲月經不順
二日分	四日分	一週分	一週分	三週分	五週分	金四圓
參拾錢	拾錢	壹圓	壹圓	九拾錢	七拾錢	參拾錢

中將湯はトコで出来る

津村順天堂の發賣だ  
し云はれまでもですが、津村順天堂では、荷も世界的良薬と  
なつてゐるから注意を拂つて、専問の學者が多數で化學的試驗  
を加へた品でないのを原料に用ひないのであります、津村化學  
研究所は中將湯を謹製する事に全努力を傾注して居ります

東京市日本橋區大塚四丁目

津村順天堂本店  
東京市日本橋區大塚四丁目  
電話東京六〇六〇

津村順天堂支店  
大阪市日本橋區大塚四丁目  
電話大阪四二五五

現に某實業家の家庭にあつた事實談ですが、この奥様は至って感弱な身體で、中絶に幾分か仲良くしてゐる。所以この奥様にいふお供をしてゐる女中さんは、奥様は正反對に非常に肉付きのよい血色の美しい、健康な美少女であつた。いまだに健康な婦人でした。或日女中さんに「お娘はクスリなご主人だぞ。さういふお世にね」と訊かへたら、「はい、奥様は中絶を希望してゐます。ご答へ下さい。」と云へた。

カサの後三ヶ月が経てゐた。その奥様におつた、そのまゝ見ても、程な血色で、よくして居られたが、奥様はさうして健康になつた。それ、さうまでない。こ



飾る綺羅より  
 肉體の健康！  
 中將湯を持薬に召す

100

[illegible]